

# ひとりぼっち活動のすゝめ ～ひとりだからできること、みんなだからできること～

Encouragement of alone activity: Things that are made for alone activity to do,

Things that are made for group activity to do.

○手島 駿 (北海道大学大学院 理学院)

○Shun Teshima (Graduate School of Science Hokkaido University)

\*E-mail: s.teshima@sci.hokudai.ac.jp

## 1. 概要

平成 28 年度より、筆者は「手島理化」という団体を立ち上げ、科学普及活動を行っている。メンバーは筆者しかいないため、仕事の受注から実験の開発・演示、広報活動まで、全て一人でこなしている。逆に、平成 27 年度以前は千歳科学技術大学の学生プロジェクトチーム「理工工房」にて、グループで科学普及活動を行っており、ここ数年間でひとりでの活動・グループでの活動の両方を経験してきた。そこで、筆者の経験から単独で行う「ひとり」での活動とグループで行う「みんな」での活動を比較し、科学普及活動を実施する場合において、それぞれにどのようなメリット・デメリットがあるのかを分析した。

## 2. 「ひとり」での活動・「みんな」での活動の概要

### 「ひとり」での活動 手島理化

平成 28 年 5 月に立ち上げ。札幌市内を中心に活動しており、平成 28 年度は 11 のイベントに参加。メインの活動は実験ブース出展。メンバーは筆者ひとりで、仕事の受注から現場対応まで全てひとりでこなしている。

### 「みんな」での活動 理工工房

千歳科学技術大学の学生プロジェクトチーム。千歳市を中心に年間 80 以上のイベントに参加し、実験ブース出展や実験教室の開催、小学校での理科実験授業の実施等を行っている。所属メンバーも年々増加しており、現在は約 60 名が活動している。

## 3. 「ひとり」だからできること、「みんな」だからできること

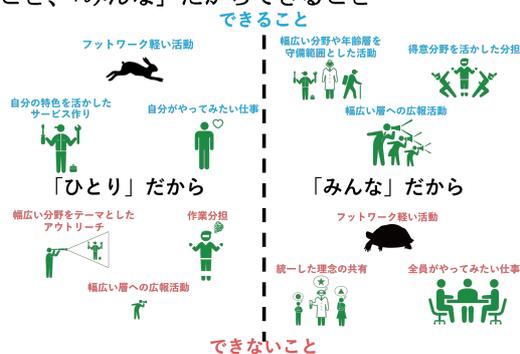


図1 単独活動とグループ活動におけるメリット・デメリット

「ひとり」での活動・「みんな」での活動それぞれのメリット・デメリットを、経験および参与観察から図1のようにまとめた。その結果、「ひとり」での活動は、フットワーク軽く活動ができるメリットがある反面、作業量が膨大になること、広報活動が難しいというデメリットがあることがわかった。逆に、「みんな」での活動は、幅広い分野や年齢層を準備範囲とした活動ができること、幅広い層への広報活動ができるメリットがある反面、グループメンバーの合意を取る必要があるため、全員がやりたい仕事はできない上、フットワークが重くなるデメリットがあることがわかった。

## 3. おわりに

今回の結果から、「ひとり」での活動にも大きなメリットがあること、逆に「みんな」での活動にも大きなデメリットがあることがわかった。そのため、より効果的な科学普及を行っていくためには、単独での活動とグループでの活動をミックスした科学普及活動を社会全体として推進していく必要があると考察する。